

# 日々 往来



大山 陽久

ITの普及につれて社会生活の利便性が高まる一方、情報管理が重要な社会問題となっており、ITセキュリティが破られて大きな被害が生じるケースが相次いでいる。

金融分野の身近な例では、振り込みなどの金融機関取引を、金融機関の店舗に出向かずに、自宅

## 金融知識・判断力を高めよう

や職場のパソコン等を用いて行う「インターネットバンキング」が着実に普及している。夜間でも手続きできるし、待ち時間もなく、非常に便利である。

(鳥取県の設問正答率は全国42位)や学校で金融教育を受けた人の割合の少なさを(鳥取県2・7%)などに起因すると考えられる。

金融技術の高度化が、ただ、情報セキュリティに対する知識不足などから、知らないうちに大切な暗証番号を詐取され、勝手に自分の口座から第三者の口座に振り込みが行われて、預金がなくなってしまう事件が、昨年から鳥取県で急増している(2012、14年の年平均1件が15年は11件)。

「知るぼると」では、親しむやすい形で知識習得ができるし、県金融広報委員会は勉強会講師を無料派遣しているので、一度利用してみたらどうだろうか。

また、金融広報中央委員会の「金融リテラシー(知識・判断力)調査」によると、鳥取県の金融リテラシー経験者割合は9・8%と全国平均の倍近い高さにあり、これは金融知識・判断力の低さを

※金融リテラシー調査結果および無料講師派遣の詳細は、日本銀行鳥取事務所HPからリンクしてご覧いただけます。